

6
1
2
1

値
にんげん

値

⑩

あたい
ね

値

子

6121 値

あたい $\text{E} \times \text{X}$ の値 もとを求める

ね 値 たかが高い

ねだん 値段 きを決める

うりね 売値・買値 かいね

かいね 買値・売値 うりね

たかね 高値 はなの花

やすね 安値・高値 たかね

かち

すうち

価値 ある しなもの品物

数値 よを読む

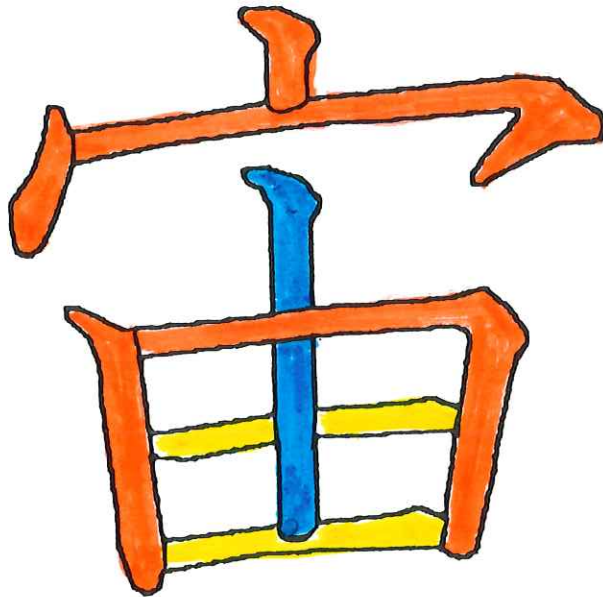
6
1
2
2



う
かん
むり



⑧



チ
ユ
ウ

6122 宙 訓読みは無し

ちゅう 宙^まを舞う

うちゅう 宇宙^{けんきゅう}を研究する

うちゅうじん 宇宙人

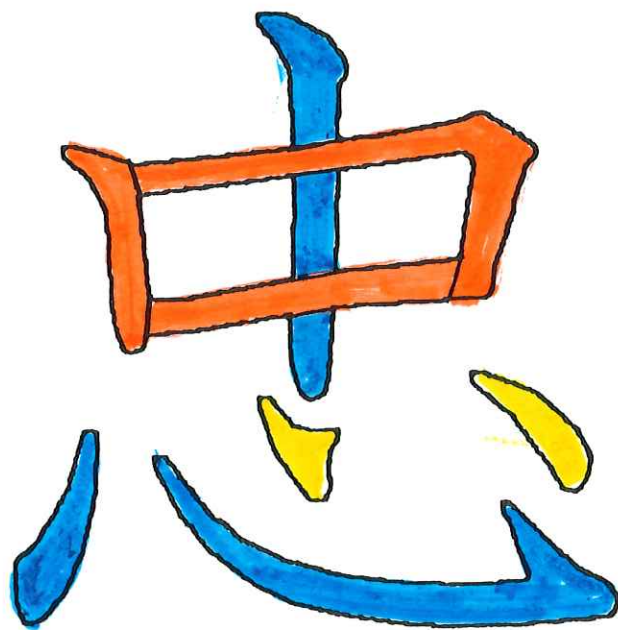
6
1
2
3



こころ

忠

⑧



チ
ユ
ウ

ちゅうきん 忠勤はげに励む
ちゅうぎ 忠義を尽くす
ちゅうくん 忠君あいこく愛国
ちゅうけん 忠犬こうハチ公
ちゅうげん 忠言は耳に痛し
ちゅうこう 忠孝みちの道
ちゅうこく 忠告を聞く
ちゅうしん 忠臣蔵ガラ
ちゅうじつ 忠実ぶかな部下
ちゅうせい 忠誠を誓う
ちゅうせつ 忠節を尽くす
ちゅうゆう 忠勇むそう無双ゆうしの勇士

ふちゅう 不忠もの者!

著

くさかんむり

著



子ヨ

著

あらわ(す)

いちじる(しい)

6124 著

あらわす 著す

いちじるしい 著しい

ちよさく 著作^{ぶつ}物

ちよしゃ 著者・読者^{どくしゃ}

ちよしよ 著書・著作^{ちよさく}・著述^{ちよじゅつ}

ちよじゅつ 著述する

ちよめい 著名^{ひと}な人

きょうちよ ^{ふたり}二人の共著

へんちよ 編著者^{しゃ}

めいちよ これは名著^だ

6125

序 まだれ

序

⑤

序

チヨウ

ちょうしゃ 庁舎^たを建てる

かんちょう 官庁^{かい}街

けんちょう 県庁^{しよざいち}所在地

しちょう ^{ほっかいどう}北海道の支庁

とちょう 都庁^{ふちよう}・府庁^{けんちょう}・県庁

どうちょう ^{ほっかい}北海道庁

ふちょう 府庁^{ふせい}・府政

頂 おおがい

頂



チヨウ

頂

いただき
いただ(く)

6126 頂

いただき やまの頂っに着いた

いただく 頂く

いただかない 頂かない

いただいた 頂いた

いただきます 頂きます

ちょうかく 頂角

ちょうじょう やまの頂上のぼに登る

ちょうてん 頂点・へん辺

さんちょう 山頂・さんぶく山腹・さんろく山麓

6127

潮 しほ

潮

⑮

し
お

潮

ち
よ
う

しお 潮が満みちる

しおかぜ 潮風に吹ふかれる

しおどき 今が潮時
しおひ 潮干が狩り

あかしお 赤潮が発は生っせい
おおしお 大潮こ・小潮しお

おやしお 黒潮くろしお・親潮

くろしお 黒潮おやしお・親潮おおしお
こしお 小潮さ・大潮わ
ちしお 血潮さが騒わぐ

ちょうりゅう 潮流

かんちょう 満潮まんちょう・干潮

まんちょう 満潮かんちょう・干潮

6128

賃
賃

かい

賃
賃

13

賃
賃
賃

チ
ン

ちんぎん 賃金 を払う
ちんしゃく 賃借料
ちんたい 賃貸住宅

うんちん 運賃 上昇
こうちん 工賃 が安い
ふなちん 船賃 ・運賃
むちん 無賃乗車
やちん 家賃 を払う
やどちん 宿賃 を払う

6129

痛

やまいだれ

痛

⑫

六一IX

ツウ

痛

いた(い)

いたい 痛い・いた痛くない

いたくない 痛くない

いたくする 痛くする

いたさ 痛さ

いたみ 痛み

いたで 痛手ををこうむる

つういん 痛飲する

つうかい 痛快だった

つうかく 痛覚・おんかく温覚

つうせつ 痛切かんに感じる

つうだ 頬ほおを痛打する

いつう 胃痛つづが続く

くつう 苦痛にかおゆがむ顔

げきつう 激痛はしが走る

げきつう 劇痛はしが走る

しんつう 心痛のあまり

ずつう 頭痛がする

ひつう 悲痛さけなごえ叫び声

ふくつう 腹痛・ずつう頭痛

むつう 無痛ぶんべん分娩

6130

展

しかばね

展

⑩

展

テン

てんかい 展開^ず 函
てんぼう 展望^あ が開ける
てんらん 展覧会^が

こてん 個展^{ひら} を開く
しゅってん 出展^{する}
しんてん 進展・展開^{てんかい}

詩

詩



う
()
()

詩

ト
フ

6131 討

うつ かたきを討つ
うたない 討たない
うった 討った

とうぼつ 討伐に出かける

けんとう 検討する
ついで 追討

6
1
3
2

党

ひとあし

党



党

トウ

とういん 党員 つのを募る
とうぎ 党議 けっいで決定する
とうしゅ 党首 を選ぶ
とうそく 党則 いはん違反
とうは 党派 をこ超えて

あくとう 悪党
きょとう 挙党 いっち一致
けっとう 結党 さんじゅうねん三十年
さとう 左党・甘党 あまとう
ざんとう 残党 が狩り
せいとう 政党 せいじ政治
ととう 徒党 を組む
にゅうとう 入党 する
やとう 野党 にまわる

6
1
3
3

糖
こめへん

糖

16

糖

ト
ウ

とうぶん 糖分 はすくなめ 目です

とうど 糖度 がたか 高く あま 甘い

さとう 砂糖 みず 水

せいとう 精糖 かいしゃ 会社

せいとう 製糖 ぎょう 業

にゅうとう 乳糖

6
1
3
4

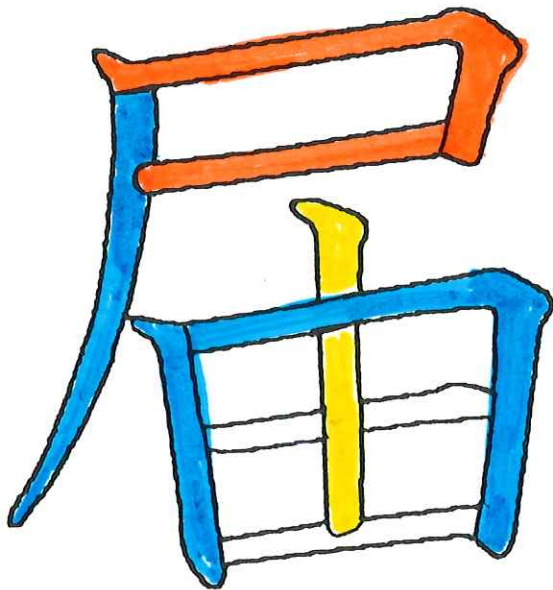


しかばね



⑧

と
と
(く)



6134 届

音読み無し

とどく	届く
とどかない	届かない
とどいた	届いた
とどける	届ける
とどけない	届けない
とどけた	届けた
とどけ	届け ^だ を出す

難佳

いんぎ

難佳

18

ナン

難佳

かた(い)

むずか(しい)

かたい あり難い

むずかしい 難しい もんだい 問題

むずかしくない 難しくない

むずかしくする 難しくする

なんい 難易 の 差

なんかい 難解

なんかん 難関 を 乗り越えて

なんきょく 難局 にあたる

なんぎょう 難行 く 苦行

なんしよく 難色 を示す

なんだい 難題 を ぶっかける

なんてん 難点 がある

なんぱ 難破 せん 船

なんびょう 難病 に 苦しむ

なんぶつ こいつは 難物 だ

なんみん 難民 が おしよせる

なんもん 難問

かいなん 海難 し 事故

くなん 苦難 を 乗り越え

こうなん 後難 を 恐れて

こくなん 国難 を 救う

こんなん 困難 を 極める

さいなん 災難 に 遭う

しちなん いろしる 色白は七難 を 隠す

しなん 至難 の 技

すいなん 水難 きゅうじょ 救助

ばんなん 万難 を 排して

ひなん 非難 ごうごう

ぶなん 無難 みち えら 道 を 選ぶ

6136

乳し
ちち

乳し

®

ちち・ち

乳し

ニユウ

ちち 乳^のを飲ませる

ちくび 乳首

うば 乳母^{そだ}に育てられる

にゅうえき 乳液^{をぬる}

にゅうぎゅう 乳牛^{にくぎゅう}・肉牛

にゅうぎょう 明治^{めいじ}乳業

にゅうさん 乳^{きん}酸菌ヤクルト

にゅうし 乳歯^ぬが抜ける

にゅうじ 乳児^{ようじ}・幼児

にゅうとう 乳糖

ぎゅうにゅう 牛乳^{せつ}石ケン

ふんにゅう 粉乳^のを飲ませる

ぼにゅう 母乳^{そだ}で育てる

れんにゅう 練乳^{ふんにゅう}・粉乳

認 ハズレ

認

⑭

みと (める)

認

二

みるとめる 認める
 みるとめない 認めない
 みるとめた 認めた

みるとめ 認め印イン

にんか 認可する
 にんしき 認識がある
 にんしょう 認証式
 にんてい 一級いっきゅうの認定

こうにん 公認こうほ候補
 しょうにん 承認する
 じにん 自認
 ぜにん ~を是認する
 ひにん 否認する

6138

納内

納内



おさ(める)

納内

ノウ・ナツ・トウ

おさめる 税金を納める

おさめない 納めない

おさめた 納めた

おさめます 納めます

おさめません 納めません

おさめました 納めました

みおさめ この世の見納め

なっとく 納得する

なや 納屋にしまう

なんど 納戸に入れる

のうき 納期を守る

のうきん 納金・納税

のうこつ 納骨・分骨

のうぜい 納税の義務

のうにゅう ~を納入する

のうふ 納付する

かんのう 完納する

きのう 帰納・演繹

しゅうのう 収納する

しょうのう ご笑納ください

ぶんのう 分納・全納

みのう 月謝が未納

ゆいのう 結納をかわす

すいとう 出納簿

脳 にくづき

脳



脳

ノウ

のうえん 日本脳炎
のうてん 脳天いっばつに一発
のうは 脳波しらを調べる
のうり 脳裏うかに浮ぶ

かんのう 間脳だいのう・しょうのう大脳・小脳
しゅのう 首脳かいぎ会議
しょうのう 小脳だいのう・大脳
ずのう 頭脳はたらの働き
だいのう 大脳しょうのう・小脳

6140

派

さいずい

派

®

派

はけん ~を派遣する
 はしゅつ 派出署しよ
 はせい 派生する
 はへい 海外かいがい派兵

かくは 各派れんごうの連合
 さは 左派・右派うは
 しゅうは 宗派とを問わない
 しょは 諸派れんごう連合
 とうは 党派をこえる
 とくは 特派員い
 りゅうは 流派

いっば だれそれ一派
 ぶんば 分派こうどう行動
 べっば 別派をたてる
 りっば 立派ひとな人

てへん
拜

拜

⑧

おが
(む)

拜

ハイ

おがむ 拜む
おがまない 拜まない
おがんだ 拜んだ

はいがん 拜顔えい たまわの榮を賜り
はいけん 拜見する
はいさつ 拜察いたします
はいしゃく ちよつと拜借する
はいじゆ 拜受する
はいどく てがみお手紙拜読
はいふく はいけい拜啓・拜復
はいめい ~を拜命し
はいりょう 拜領する

れいはい 礼拜どう堂

さんぱい 参拜する

6
1
4
2

北
背

に
く
(背)

北
背

⑨

せい
せい
そむ
(く)

北
背

ハイ

せ 背をむける

せいくらべ 背比べ

そむく 背く・そむ背かない

そむかに 背かない

そむいた 背いた

せすじ 背筋のを伸ばす

せなか 背中がかゆい

はいえい 背泳・せ およ背泳ぎ

はいけい 背景・ぜんけい前景

はいご 背後から襲おそう

はいしん 背信こうい行為

はいにん 背任おうりょう横領

はいめん 背面と飛び

こうはい 後背ち地=ヒンターランド

しはい 眼光紙背がんこうにてっ徹する

ふくはい 腹背てきに敵

肺 いんげんき

肺

⑨

肺

ハイ

はいえん 肺炎・肺病^{はいびょう}
はいぞう 肺臓・肺炎^{はいえん}
はいびょう 肺病・肺炎^{はいえん}

かたはい 片肺^{ひこう}飛行

6
1
4
4

排
にんげん

排



排
3 7

ハイ

はいが	俳画・俳人 ^{はいじん}
はいく	俳句・短歌 ^{たんか}
はいごう	俳号 ^{ばしょう} 芭蕉
はいじん	俳人 ^{いっさ} 一茶
はいぶん	俳文
はいゆう	俳優・女優 ^{じょゆう}

6
1
4
5

班

おうへん

班

⑩

班

ハ
ン

六
ー
X

6145 班 訓読みは無し

はんいん 班員・班長^{はんちょう}
はんちょう 班長・班員^{はんいん}
はんでん 班田^{しゅうじゅ} 収授^{ほう}の法

6
1
4
6

晚

ひ
へ
ん

晚

⑫

晚

ひ
へ
ん

ばんか	晩夏・晩秋 <small>ばんしゅう</small>
ばんがた	晩方・朝方 <small>あさかた</small>
ばんしゅう	晩秋・晩夏 <small>ばんか</small>
ばんしゅん	晩春・晩夏・晩秋 <small>ばんか ばんしゅう</small>
ばんとう	晩冬・晩秋 <small>ばんしゅう</small>
ばんねん	晩年・幼年 <small>ようねん</small>
ばんめし	晩飯・朝飯 <small>あさめし</small>
あさばん	朝晩 <small>まい</small> お参りする
こんばんは	今晚は
さくばん	昨晚・今晚・明晩 <small>こんばん みょうばん</small>
まいばん	每晚・每朝 <small>まいあさ</small>
みょうばん	明晩・今晚・昨晚 <small>こんばん さくばん</small>
よくばん	翌晩・昨晚 <small>さくばん</small>

6
1
4
7

香

くち

香

⑦

いな

香

ト

いな 否、そうではない

ひけつ
ひにん

否決
否認

かひ

可否 どうすう 同数

ごうひ

合否 はんてい の判定

さいひ

採否 けつてい を決定

さんび

賛否 りょうろん 両論

しんび

真否

せいひ

成否 をにぎる

とうひ

当否 と を問う

あんび

安否 たず を尋ねる

6
1
4
8

批 てへん

批

⑦

批

匕

6148 批 訓読み無し

ひはん 批判する

ひひょう 批評する

秘のぎへん

秘



ひ
(める)

秘

ヒ

6149 秘

ひめる 秘める

ひみつ 秘密

ごくひ 極秘

6150

腹

はら (ハラ)

腹

⑬

は
ら

腹

フ
ク

はら 腹がすく

はらおび 腹帯を巻く

うらはら 心と裏腹
したはら 下腹が痛い

じばら 白腹を切る

ふくあん 腹案がある

ふくしん 腹心の部下

ふくぞう 腹蔵なく話す

ふくつう 腹痛・頭痛

ふくはい 腹背に敵てき

かいふく 開腹手術

くうふく 空腹・満腹

しふく 私腹をこやす

ちゅうふく 山の中腹

さんぶく 山腹・山頂さんちよう

せつぶく 切腹する

まんぶく 満腹・空腹

りつぶく ご立腹

奮

たい

奮

⑩

ふる (う)

奮

フシ

ふるう 奮いたつ

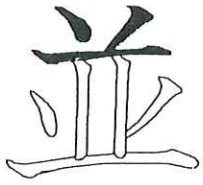
ふんき 奮起する

ふんせん あいて 奮戦する

ふんとう 奮闘する

ふんれい 奮励せよ

こうふん 興奮する



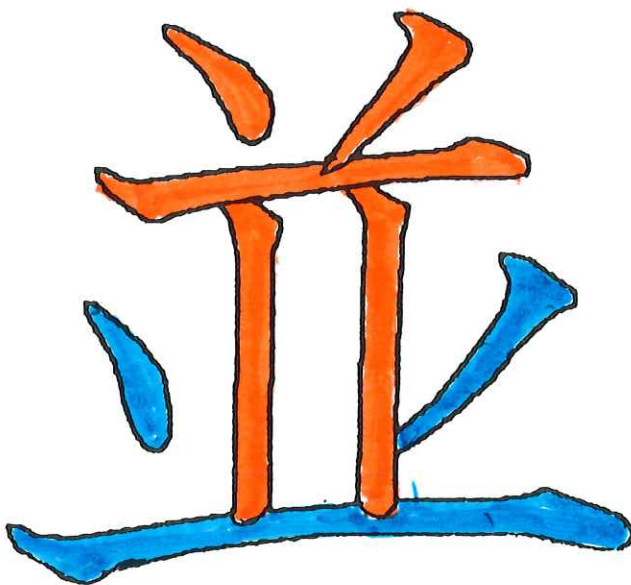
なみ



⑧

なら (べる)

なみ



へイ

6152 並

ならべる	並べる	へいれつ	並列 ^{つなぎ}
ならべない	並べない	へいこう	並行・ ^{へいこう} 平行
ならべた	並べた		

ならぶ	並ぶ
ならばない	並ばない
ならんだ	並んだ

なみ	並 ^の もの
----	-------------------

陸士
ニヒトヘン

陸士



陸士

ノ

へいか 天皇陛下

注意
かいか 階下とへいか 陛下の違いは
右下の白と土の違いです。

閑

せ
か
ま

閑



閑

へ
い

と(じる)

し(める)

しめる まど窓を 閉める

しめない 閉めない

しめた 閉めた

しめわすれ 閉め忘れ

とじる ほん本を 閉じる

とじない 閉じない

とじた 閉じた

へいかい 閉会・かいかい開会

へいまく 閉幕・かいまく開幕

かいへい とびらの開閉

片

かた

片

④

かた

片

片

かた	片 ^{がわ} 側・両側 ^{りょうがわ}	しへん	紙片 ^ち が散る
		はへん	破片 ^{ひろ} を拾う
かたおや	片親 ^{りょうしん} ・両親		
かたがわ	片側 ^{りょうがわ} ・両側	いっぺん	一片 ^{りょうしん} の良心
かたこと	片言 ^{はな} で話 ^{はな} す	だんぺん	断片 ^{てき} 的
かたて	片手 ^{りょうて} ・両手		
かたとき	片時 ^{いっとき} ・一時		
かたはい	片肺 ^{ひこう} 飛行		
かたほう	片方 ^{りょうほう} ・両方		
かたぼう	片棒 ^を かつぐ		
かため	片目 ^を つぶる		

補
ころもへん

補

⑫

おぎな(う)

補

ホ

6156 補

おぎなう 補う・補わない

おぎなわない 補わない

おぎなった 補った

ほかく

^{へいかく}平角・補角

ほけつ

補欠になる

ほじよ

補助する

ほそく

補足する

こうほ

候補者^{シヤ}

りっこうほ

立候補

6157

暮 ^ひ
日

暮

⑭

く (5) (5)

暮

ホ

くらす

暮らす

せいぼ

歳暮^{おく}を贈る

くらし

暮らし

くれる

^ひ日が暮れる

くれない

暮れない

くれた

^ひ日が暮れた

宝

うかんむり

宝

⑧

たから

宝

ホウ

たから 宝とする

たからぶね 宝船たからもの・宝物

たからもの 宝物

こだから 子宝めくに恵まれる

ほうぎよく 宝玉

ほうこ 宝庫

ほうせき 宝石
ほうとう だんか伝家の宝刀

かほう 家宝にする

こくほう にんげん人間国宝

ざいほう 財宝かくを隠す

ちょうほう 重宝する

ひほう おうけ王家の秘宝

さんぼう ぶっぽうそう仏法僧三宝

しっぽう 七宝焼

訪 ミラヒル

訪



ホウ

訪

おとず (れる)

たず (ねる)

おとずれる 訪れる
おとずれない 訪れない
おとずれた 訪れた

たずねる ともを訪ねる
たずねない 訪ねない
たずねた ともを訪ねた

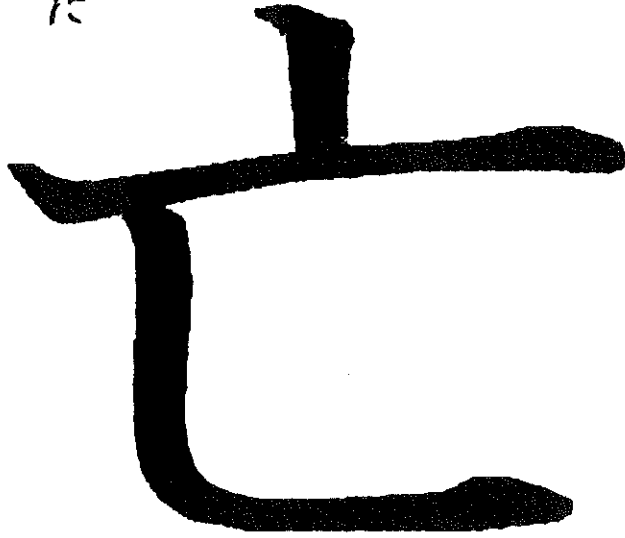
ほうもん 訪問する

たんぼう にほんし日本史探訪
らいほう 来訪者
れきほう しょこく諸国を歴訪する

6160

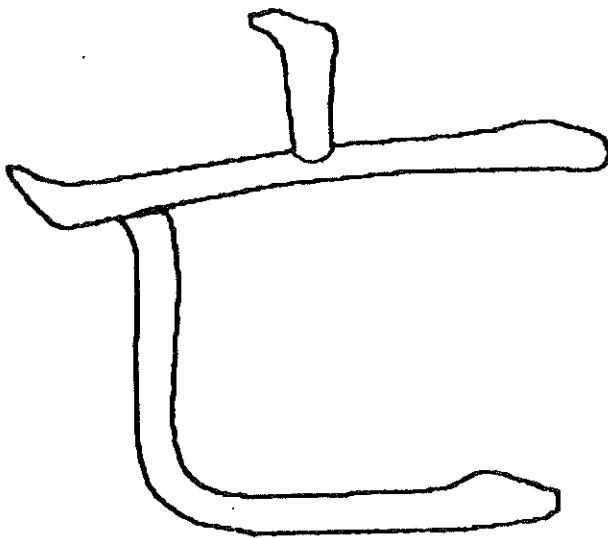


な
へ
び
た



③

な
(い)



ボウ・モウ

6160 亡

ない

いま **亡**い そぼ 祖母

なき

亡き そふ 祖父

ぼうしつ

亡失する

ぼうふ

亡父・ぼうぼ亡母

ぼうれい

亡霊でが出る

こうぼう

こっか 国家 **興** **亡** れきし の歴史

しばう

死 **亡** する

もうじゃ

かね 金の **亡**者